



今年度第3回理事会

令和元年 11月26日、ものづくりインキュベーションセンターにおいて、令和元年度第3回理事会を開催しました。齋藤隆前常務理事の退任に伴う常務理事の選任と台風19号により被災したものづくりインキュベーションセンター復旧のための財源、復旧費用計上に伴う今年度補正予算を議題に開催し、いずれも原案通り承認されました。

常務理事には、郡山商工会議所専務理事の福内浩明氏が就任しました。インキュベーションセンターは、一部工事を除きほぼ復旧し、また、入居企業もすべて営業を再開しております。



会議室



復旧した会議室にて理事会を開催しました



アトリウム



若手研究員の育成を目指して 第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア REIFふくしま2019へ出展

10月30日、31日に開催されました第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア 2019 (REIF ふくしま 2019) に当機構もブースの出展をしました。本ブースにおいて、日本大学工学部で開催の新☆エネルギーコンテストに出展する学生のうち、2つのチームのアイデアポスターを展示し、アイデアを提案した学生が案内・発表を行いました。

学生たちは企業の方々の提案に対する質問や意見に対し、考えを述べながら、改善点などのアドバイスに耳を傾け、アイデアに対する新たな知識を得られるなど有意義な時間を過ごしていました。

当機構では、ものづくりに取り組む若手研究者の育成にも努めてまいります。



当機構ブースの様子

ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

令和元年 11月26日 (火) に当機構入居者審査委員会を開催しました。

【延長】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
7	福島コンピューターシステム(株) 代表取締役社長 芳賀 洋輔	セキュリティ強化や事業継続計画対策のためのクラウドサービスの構築・提案	令和元年12月1日～令和2年11月30日
8	(株)プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲	アルミニウム一次電池負極材の研究開発	令和元年1月4日～令和2年1月3日

今月のコラム (技術コーディネーター 佐藤正弘)



支援体制が広がりを見せて、『産学金官連携』との取り組みがあります。

この中の『金』(金融機関)は、独自に取引先の経営面からの支援活動を行って来ています。しかし、産業界を牽引している産業分野 ①人口問題から住宅産業、②エネルギー環境問題から自動車産業(EV化など)などで、産業変革が始まっています。これら変革の流れに遅れをとらない様に、ものづくり企業(特に中小企業)が、各企業の強みを新しい分野へ踏み出す為にも、その『金』を組んで、技術面と企業経営面と一体になる連携が必要な時期になっているからと思います。単年度で見る目先の企業の成果(事業損益)も重要な事ですが、『官』を含め、中期(2~3年以上)の連携・支援からも、次の一手を一緒にやっていきたいと考えています。

今回は、分野を特定して『医工連携について』を予定しています。

